

## インタビュー

～らでいっしゅぼーや～

### 『奥長良川の秘水』『龍泉洞の水』が ミネラルウォーターNo.1 商材、月間2万本の実績

有機野菜や無添加食品などの宅配サービスで成長を続ける「らでいっしゅぼーや」。1988年の創業以来、会員数は伸び続け、現在では全国9万4,000世帯、売上げもここ数年約110%で推移しており、2008年2月期で212億円に達した。多彩な食品からエコロジーグッズまで約7,000アイテムを取り扱う中で、売れ筋商品がテクノス㈱の『奥長良川の秘水』と『龍泉洞の水』だ。人気の秘密について、らでいっしゅぼーや㈱事業本部 MD 部食品課の倉嶋誠シニアマーチャンダイザーに聞いた。



本誌：現在、ミネラルウォーターは何アイテムを販売していますか？

倉嶋：4ブランド販売しています。うち2ブランドは弊社オリジナル品ですから、NB品に関しては『奥長良川の秘水』と『龍泉洞の水』のみということになります。どちらも20サイズを中心に販売しており、それぞれ月間1万本以上の実績です。飲料関連は夏場に売上げが集中するのですが、この2品に関していえば夏はもちろんのこと、年間で安定して売れています。

10年前にミネラルウォーターを品揃えに加えることになった時、第一号が『奥長良川の秘水』と『龍泉の水』でした。以来、口コミの効果もあってリピート率が非常に高く、順調に伸びています。らでいっしゅぼーやで最も力を入れている商品のひとつです。

本誌：数あるミネラルウォーターの中からこの2品を選んだ理由について。

倉嶋：非加熱無菌充填のナチュラルミネラルウォーターであることが挙げられます。採水地は厳選した環境で、現地でボトリングしています。製造元のテクノス㈱は大手飲料メーカーの商品も製造しています。選ばれているということですね。

もちろん味の良さも決め手です。ほのかな甘みを感じるなど、飲むと他のミネラルウォーターとの違いが明確に分かります。

本誌：らでいっゅぼーやにおける商品選択基準を教えてください。

倉嶋：食品に関しては、味はもちろんのこと、農薬、肥料、飼料、添加物、製造方法、素材など、当社独自の基準で、あらゆる項目の安全性について厳しくチェックします。また、徹底したトレーサビリティにこだわり、農薬の使用状況や産地等、商品の情報を公開しています。会員は妊娠出産を経験した20代-30代の主婦層が多いため、会員の商品を見る目は厳しいですよ。

### 『奥長良川の秘水』



### 『龍泉洞の水』



### 注目商品 (別ページ)

#### 非加熱無菌充填のナチュラルミネラルウォーター『奥長良川の秘水』

数多いミネラルウォーターの中で、注目を集めている商品がテクノス㈱の活性水素水『奥長良川の秘水』だ。その機能性の高さと、歌手の西城秀樹さんや、読売巨人軍の長島茂雄終身名誉監督が脳梗塞から復活した時期に飲んでいた水としても話題を呼んでいる。

同品は同社開発の高速循環式活水装置（特許取得済）を用い、岐阜・奥長良川の天然水を遠赤外線処理と磁気処理したもの。非加熱無菌充填のミネラルウォーターで、水の分子クラスターが小さく、酸化還元電位が低いため体に吸収されやすい。活性水素も豊富で、体内の過剰な活性酸素を除去することが期待できる。口当たりはまるやかで飲みやすく、弱アルカリ性の超軟水だ。

『秘水』と他のミネラルウォーターとの大きな違いは、“非加熱無菌充填”にある。現在、日本で売られているミネラルウォーターのほとんどは加熱殺菌方式で、海外ではボルドウォーターと呼ばれているもの。水は、沸騰するとおいしさの決め手である炭酸ガスや酸素が無くなるだけでなく、10分で活性水素量が0になってしまう。さらに、高温加熱殺菌充填ではペットボトルから微量のアセトアルデヒドが溶出するという報告もあるから注意が必要だ。

現在、全国に400以上の水工場があるが、完成度の高い非加熱フレッシュパック充填工場は同社を含め4、5工場しかない。非加熱無菌濾過方式のノウハウを持つ企業はほとんどないのが実情だ。非加熱”はミネラルウォーターの機能性にとって非常に重要で、水が“生きている”ことがポイントになる。非加熱の『秘水』には他のミネラルウォーターに比べ、数倍の活性水素が含有されているのだ。

希望小売価格：300円／2ℓ  
150円／500ml

※ 宅急便代含